

平子の森トライアル事業
中間報告書

(令和 4 年 4 月～令和 7 年 3 月)



尾張旭市企画課
令和 7 年 1 月 27 日

目次

1 平子の森トライアル事業の概要.....	1
2 各共同事業者による取組の状況.....	4
・学校法人菊武学園.....	4
・株式会社 SkyDrive.....	5
・株式会社 トラストワーク一般社団法人 DPCA 共同事業体.....	6
・愛知県警察.....	7
・一般社団法人キッズ・ポケツツ.....	8
・中部精機株式会社.....	8
3 各共同事業者の意見等.....	9
4 今後の利活用に向けた進捗状況（市の方向性）	10

1 平子の森トライアル事業の概要

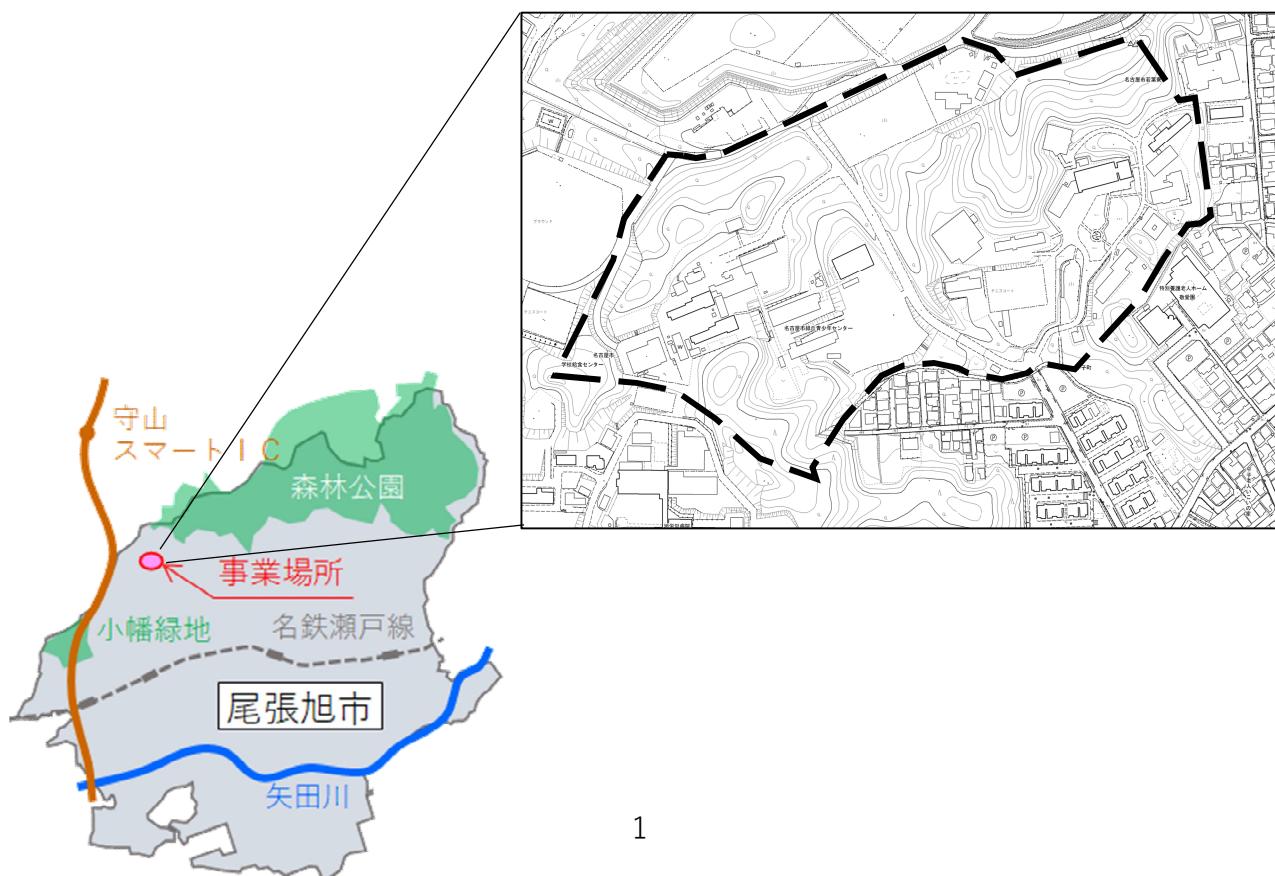
平成24年11月に名古屋市から取得した、本市の北西部に位置する「平子町北地内市有地（通称：平子の森）（以下「当該市有地」という。）」の利活用について、令和2年度に策定した「萌芽的な利活用に係る方針（以下「利活用方針」という。）」に基づき、令和4年度から令和8年度までの5年間を事業期間とした「平子の森トライアル事業（以下「本事業」という。）」を実施しています。

本事業は、産学行政の連携により、具体的な実績の積み重ねによって、当該市有地の利活用の可能性を模索するものであり、現地の一部を「実証フィールド」と位置づけ、様々な分野の取組を試行的かつ短期的に実施するものです。そのため、本市とともに本事業を実施する民間事業者等を「共同事業者」として登録し、各共同事業者による「実証フィールド」での事業を通じて、今後の利活用に向けた課題や解決策等を整理していきます。

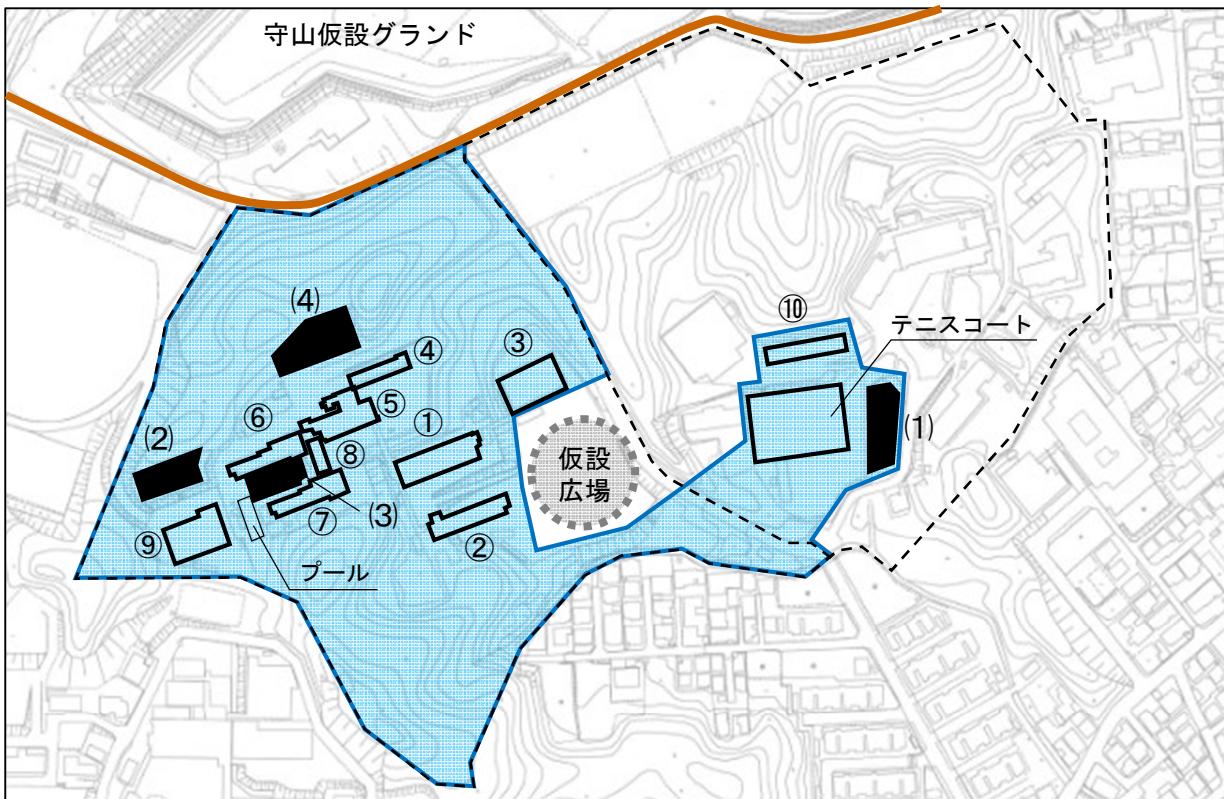
この報告書では、開始から3年を経過し、中間期を迎えた本事業について、これまでの取組状況と今後の利活用に向けた進捗状況（市の方向性）について報告します。

【参考】

当該市有地について	
所在地	尾張旭市平子町北 59 番 15、16
区域区分	市街化調整区域
土地の面積	151,722 m ²
公道の接道状況	南側に市道平子 10 号線（W=10m）のみ接道 ※ 敷地北側の名古屋市管理用道路は通行不可
その他	旧名古屋市立緑丘小中学校、旧名古屋市立保育短期大学跡地



● 平子の森トライアル事業の利用区域



【建物等】

No	施設名	延床面積	共同事業者の利用状況	
			専有*	共有*
①	校舎棟（北）	1,080.00 m ²	○	
②	校舎棟（南）	760.44 m ²		○
③	体育館	577.30 m ²		○
④	管理棟	521.30 m ²		○
⑤	食堂棟（ピロティ）	385.34 m ²		○
⑥	男子寮	1,246.07 m ²		○
⑦	女子寮	1,246.07 m ²		○
⑧	学習棟	287.27 m ²		○
⑨	給食センター	734.51 m ²	○	
⑩	音楽棟	100.00 m ²	○	
-	テニスコート	約2,100 m ²	○	
-	プール	約200 m ²	○	

【土地】

No	利用面積	共同事業者の利用状況	
		専有*	共有*
(1)	約1,000 m ²	○	
(2)	約700 m ²	○	
(3)	約750 m ²	○	
(4)	約1,300 m ²		○

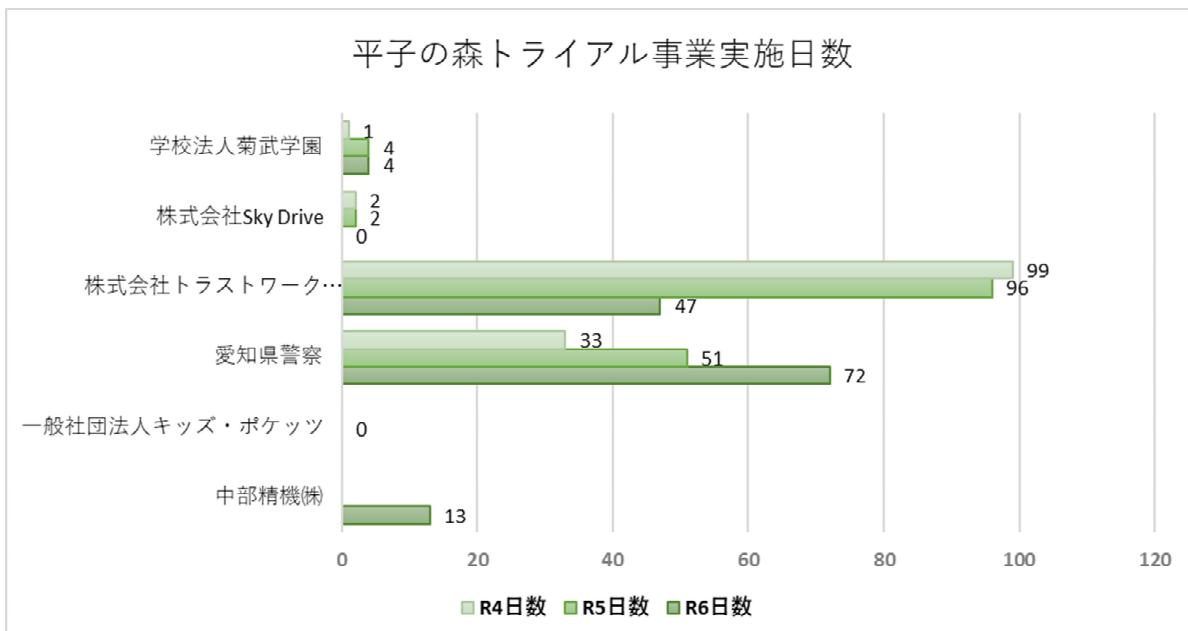
※ 用語の定義

- ・「専有」とは、特定事業者の専用施設等であり、他の事業者は使用できない。
- ・「共有」とは、他の事業者と共同で使用するもので、使用する際には、関係事業者との調整が必要となる。

● 共同事業者一覧（令和7年3月31日時点）

共同事業者名	取組の概要
①学校法人菊武学園	<ul style="list-style-type: none"> ドローンを活用した環境教育、災害調査、建物診断 平子の森に隣接する学校施設と連携したスポーツや子ども分野における教育事業の推進
②株式会社 SkyDrive	<ul style="list-style-type: none"> 物流に特化した「カーゴドローン」の機能や性能等を向上させるための研究開発の推進
③株式会社トラストワーク 一般社団法人 DPCA 共同事業体	<ul style="list-style-type: none"> 産業ドローンによる散布や空撮に係る操縦訓練 ドローンの基本知識の教育や操縦体験、子どもの関心を高めるイベントの開催 ドローン業界と地域の活性化の推進
④愛知県警察	<ul style="list-style-type: none"> 平子の森の旧校舎等を活用した各種訓練の実施
⑤一般社団法人 キッズ・ポケツツ	<ul style="list-style-type: none"> 音楽愛好家等の楽器演奏をメインとした練習場の提供
⑥中部精機株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 産業ドローンの操縦訓練 ドローンによる提供サービスの開発に資する実証実験の実施

● 事業実施日数



2 各共同事業者による取組の状況

令和 6 年度までの各共同事業者による取組状況は以下のとおりです。

学校法人菊武学園

代表者：理事長 高木 弘恵

事業参加時期：令和 4 年 4 月 1 日～

所在地：尾張旭市新居町山の田 3255-5

利 用 区 域：校舎棟（南）

取組状況

令和 四 年 度	ドローン操作訓練 事前に操作講習を受けた学生が、ドローンの飛行訓練を実施
	CO₂濃度測定 学生が測定器を手に持ち、植生の有無による数値差などを比較した調査を実施
	平子の森を活用した植生調査 中央道路から給食センター付近まで、生息している草木について、講師の説明を聞きながら調査を実施
	ドローンによる建物診断 平子町仮設広場内にモニターを設置し、学生や民間企業の講師によってドローンで撮影した映像を通して、建物内部の老朽化部分等の確認、分析を実施
令和 五 ・ 六 年 度	「平子の森」夏休み体験講座 夏休み期間中に、小学生を対象とした体験講座を、学生が中心となり実施 <ul style="list-style-type: none">・ドローン操作講座は、平子町仮設広場を活用し、学生の指導のもと、手のひらサイズのドローン操作を参加者が体験・自然に触れ合う体験講座では、講師による平子の森に自生する樹木の説明等を聞きながら、様々な素材を集め、大学校内で工作等を行う、自然を生かした取組



今後の利活用について

地域への貢献	<ul style="list-style-type: none">・講座を通じて、地域の子ども達に、ドローンを身近に体験できる場を創出しており、この点において貢献度は高い。
取組への評価	<ul style="list-style-type: none">・老朽化した残置建物が、ドローンによる「建物診断」の訓練場所としては有効であり、平子の森ならではの利活用といえる。・ただ、建物の老朽化や耐震性の問題から、学生等が建物内で活動することは難しく、残置建物の利活用の可能性は低い取組である。・参加者等の安全管理、対策をきちんと講じることができれば、小型ドローンの操縦訓練の場として、適した場所といえる。・自然にふれる活動は、終始野外となるため、活動時期によって、参加者等の体調管理を行い、実施する必要がある。
令和 8 年度までの取組予定	<ul style="list-style-type: none">・平子の森の自然をいかした取組や小型ドローンの体験講座については、引き続き、トライアル事業として実施する。

株式会社 Sky Drive

代表者：代表取締役 CEO 福澤 知浩

事業参加時期：令和4年4月1日～

所在地：愛知県豊田市挙母町2-1-1

利 用 区 域：体育館、テニスコート外

取組状況

令和四・五年度	大型カーゴドローンの試験飛行 荷物を吊り下げながら水平移動し、急停止した際の荷物の揺れによる機体への影響を調査
令和六年度	取組実績なし

今後の利活用について

地域への貢献	<ul style="list-style-type: none">開発途中の機体のテストも兼ねているため、飛行訓練は非公開であるものの、地域住民を対象とした見学会や試験飛行の事前周知によって、大型カーゴドローンの飛行訓練への理解を得られるように取組を実施している。
取組への評価	<ul style="list-style-type: none">専門のパイロットによる飛行や、機体の安全機能により、一軒の安全性は確保されている取組のため、一定の評価はできる。周辺地域への騒音等の影響が懸念されるが、地域住民の理解が得られれば、民間事業者にとって、市街地に隣接した場所である平子の森に適した取組となる可能性は高い。飛行訓練以外での利活用ができないため、取組の幅は限られている。
令和8年度までの取組予定	<ul style="list-style-type: none">引き続き、冬季期間における豊田市内のテストフィールドが使用できない場合の代替地として、大型カーゴドローンの飛行訓練を実施する。

株式会社トラストワーク・一般社団法人 DPCA 共同事業体

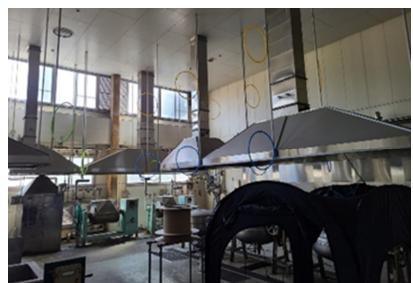
代表者：代表取締役 今石 英志

事業参加時期：令和 4 年 6 月 14 日～

所在地：名古屋市守山区八剣 2-107

利 用 区 域：給食センター、体育館 外

取組状況	
令和四年度	<p>ドローン講習 給食センター内を整備し、既存の設備をドローンコースの障害物として活かしながら、座学なども併せた操作訓練や講習を実施</p> <p>地元小中学生を対象としたドローン飛行体験会 トイドローンを使用した飛行体験と、ドローンの社会的な意義や危険性等についての講習会を実施</p>
令和五・六年度	<p>ドローン講習 給食センター内や体育館を中心に、ドローンの操作資格を取得するため、全国から受講者が参加する講習を実施</p> <p>ドローンサッカー</p>



今後の利活用について	
地域への貢献	<ul style="list-style-type: none">子ども達を対象としたドローン飛行体験会は、次世代の産業を担うドローンに触れながら楽しむイベントであり、地域への貢献度は高い。平子の森トライアル事業をきっかけとして、市の行事（市民祭やイベントの空撮等）への参加や防災協定の締結を行い、積極的に地域活性化を推進している。
取組への評価	<ul style="list-style-type: none">残置建物や設備を、飛行訓練の障害物として活用するなど、平子の森に適した取組といえる。ドローン講習に全国から受講者が参加するなど、国内有数のドローンの操作訓練施設として、建物を活用できる可能性は高い。屋外のドローン操作訓練用フィールド周辺における、草刈りや樹木伐採等を積極的に行っており、利用者として平子の森の環境整備に関しても協力的に実施している点は評価できる。
令和 8 年度までの取組予定	<ul style="list-style-type: none">引き続き、ドローン講習を中心に行なう。市のイベント等への協力や防災部門と連携した災害時のドローン操縦訓練の実施も検討する。

愛知県警察

代表者：刑事部捜査第一課

事業参加時期：令和4年7月13日～

所在地：名古屋市中区三の丸2-1-1

利 用 区 域：校舎棟(北/南)、体育館 外

取組状況

令和四～六年度

訓練活動

建物を適宜修繕しながら、立てこもり現場等を想定した訓練やそれに伴うミーティング、また、窓が閉鎖されている建物での暗所訓練等を定期的に実施



関係機関との合同訓練

愛知県警察本部をはじめ、本市消防本部（指揮隊、救急隊）や医療機関と連携し、立てこもり事件を想定した合同訓練を実施

今後の利活用について

地域への貢献

- ・建物周辺の環境整備だけでなく、一般利用できる平子町仮設広場の整備等も積極的に実施しており、愛知県警察の定期的な利用が、平子の森周辺の治安維持にも繋がる取組となっている。
- ・本市消防本部と連携した取組を実施することで、相互の実践的な訓練にも繋がり、地域や市全体の安心・安全への貢献度は高い。

取組への評価

- ・活動の特性上、公表可能な内容は限られるものの、平子の森の立地や建物をうまく利用した取組を実施しており、有効的な利活用であると一定の評価ができる。
- ・訓練活動に伴う音の発生はあるものの、周辺地域への影響は比較的小さいため、今後も周辺の住宅地に配慮した取組であれば利活用の可能性としては高い取組である。
- ・積極的に他の関係機関と連携した取組を、調整・実施しており、公共の利益に資する取組として、高く評価できる。

令和8年度までの取組予定

- ・引き続き、愛知県警察の各部隊訓練を中心に実施する。
- ・関係機関と連携した取組も、定期的に実施する。

一般社団法人キッズ・ポケッツ

代表者：代表理事 小野田 多可人

事業参加時期：令和 6 年 4 月 30 日～

所在地：名古屋市名東区高社 2-246

利 用 区 域：音楽棟



取組状況

令和
六
年
度

今後の活動に向けての環境整備

音楽愛好家等の楽器演奏の練習場として、使用できるように、建物の清掃や各個室の整備等を中心に実施

今後の利活用について

取組への評価

- 市と協議しながら、事業開始に向けて準備を進めており、引き続き、適切な取組が実施されるように進めていく。
- 特に、大きな音を伴う取組を実施する場合は、近隣住民に対し、事前説明を行う必要があり、取組内容に注意しながら進めいくことで、地域住民の理解が得られれば、今後、幅広い利活用方法として期待される。

令和 8 年度までの取組予定

- 音楽愛好家等の楽器演奏の練習場として、音楽棟を活用する。

中部精機株式会社

代表者：代表取締役社長 小道 浩也

事業参加時期：令和 6 年 5 月 22 日～

所在地：春日井市気噴町 3 丁目 5-1

利 用 区 域：体育館、管理棟 外

取組状況

令和
六
年
度

ドローン操作訓練

事業関係者へのドローンを用いた基礎講習や専門技能講習等を実施



物流用ドローンの飛行訓練

荷物を吊り下げた状態での飛行時間や、離着陸時及び上空 50m 付近を移動し旋回時の荷物の揺れによる機体への影響等を調査

今後の利活用について

地域への貢献

- 今後、地域貢献に繋がるような取組を検討するよう働きかけを行う。

取組への評価

- 他の共同事業者（ドローン事業者）と実施場所の調整や共同での取組を実施しており、平子の森を有効的に利活用できる取組である。
- 平子の森周辺の住宅地から、比較的離れた場所で実施しているため、飛行音への苦情等はなく、周辺環境への影響は少ない取組であり、一定の評価ができる。

令和 8 年度までの取組予定

- ドローン操作訓練を中心に、不定期で、物流用ドローンの飛行・搬送訓練（建物間の吊り荷移動等）を実施する。

3 各共同事業者の意見等

当該市有地にて、様々な活動を行ってきた各共同事業者の主な意見等は、次のとおりです。

主な意見等	
当該市有地の魅力	<ul style="list-style-type: none">・自然が豊かで、周囲の住宅地から一定の距離があることから、活動が行いやすい。・名古屋市の近くに立地しており、公共交通機関で行くことができる。・使用区域に一般市民の方々の出入りがないため、活動内容の安全性秘匿性が保たれる。・自然豊かな恵まれた環境
本格的な利活用に向けた懸念事項（課題）	<ul style="list-style-type: none">・インフラの整備が不十分・トイレが仮設広場の一箇所しかない。・周辺樹木の倒壊など安全部面に不安がある。・当該市有地までの経路が非常に分かりにくい。北側の名古屋市管理道路も共同事業者は使用可能としてほしい。・建物の耐震性・貴重な残された自然環境を破壊すべきではない。
有償借地とすることについて	<ul style="list-style-type: none">・可能なら今後も無償を希望する。有償化する場合は電気、水道等のインフラが必要になると考える。・経費負担が生じるため、引き続き利用を希望されている方が多いが、撤退せざるを得ないと考える。・非常に活用させていただいていることから有償となったとしても利用を検討したい。
トライアル事業で得られた成果	<ul style="list-style-type: none">・関係者間のつながりができた。・講習や訓練、イベント等の開催により技能向上等の成果が得られた。・全国規模の取組も実施することができた。
トライアル事業実施前後の平子町北地内市有地の印象	<ul style="list-style-type: none">・トライアル事業の実施を通じ、さまざまな活用方法・多くの可能性があるという印象を抱いた。・活用できる有意義な場所となった。・多大な価値や利活用策が次々と発見された。
その他、トライアル事業や本市有地についての意見	<ul style="list-style-type: none">・トライアル事業としてさらに有効活用するためにはインフラ整備など、市としての補助・支援が必要・トライアル事業の継続、延長・夜間使用

4 今後の利活用に向けた進捗状況(市の方向性)

本事業を通じて、市として把握できたことなどは、下記のとおりです。

【既存建物関係】

当該市有地の既存建物は、老朽化しているため、一般的に想定される施設の用途では利用されていませんが、ドローンの飛行訓練や警察の訓練といった特殊な用途で短期的な利活用はできており、限定的ではあるものの、一定の市場ニーズは確認できました。一方、建物の老朽化は日々進行しており、安全面において、中長期的には既存建物を使用して、同様の使用方法を推奨できる状況になく、できる限り早期の対応が求められています。その対応については、取り壊しによる建替え又は大規模改修を基本とした抜本的な整備が必要です。なお、令和6年度に当該市有地の既存建物の解体に要する概算費用等の算出を目的として実施した建物解体検討委託の調査の結果、建物の解体には約15億円もの多額の費用が必要なことが判明しています。

【自然環境関係】

建物以外を活用した取組としては、自然豊かな環境を活かした夏休み体験講座等が実施されており、心身の健康や自然環境への理解を深める取組として、一定の有効性が確認できました。一方で当該市有地では、樹木の老朽化に伴う倒木のおそれやいのしし等の有害鳥獣の発生など、現状のままでは安全面でのリスクが高く、相応の対策が必要な状況であると考えられます。

【近隣住宅関係】

当該市有地の周辺には、県営旭住宅をはじめとした住宅街が広がっています。各共同事業者においては騒音対策や交通安全対策等を適切に実施することで、周辺住民に十分に配慮した活動が行われていたため、大きなトラブルは生じていません。本格的な利活用の場合においても、特に近隣住民に対し、配慮が必要であると考えられます。

【今後について】

本事業については、令和8年度末までの予定となっていますので、引き続き、共同事業者の取組内容等を確認します。また、建物解体検討委託の結果により、建物の解体には約15億円もの多額の費用が必要なことが判明したため、本事業の検証と並行してサウンディング型市場調査※を行い、透明性の高い、開かれた形で、民間による柔軟なアイデアや資金力の活用を検討し、利活用の可能性を模索していきます。

※サウンディング型市場調査とは…事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな事業提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法

平子の森トライアル事業の詳細は、本市公式ホームページに掲載しています。

<https://www.city.owariasahi.lg.jp/site/hirako-no-mori/>

担当：尾張旭市企画部企画課総合調整係
0561-53-2111（代表）内線228、0561-76-8105（直通）
kikaku@city.owariasahi.lg.jp

